

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



沖縄県スマートエネルギー アイランドシンポジウム

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



“沖縄独自の島しょ型エネルギー社会の実現を目指して”



日時：令和2年12月22日(火) 14:00～16:30

場所：沖縄県立博物館・美術館（講堂）

参加費：無料（要事前申込）会場定員:100名 Web定員:100名

主催：沖縄県

事務局：沖縄ハイクリーンエネルギー協力推進事業受託共同企業体

沖縄県委託事業：スマートエネルギーアイランド基盤構築事業

■プログラム

	時間	タイトル	講演者・発表者（予定）
第一部	14:00 ～14:30	基調講演 「沖縄県のエネルギー政策について」	沖縄県商工労働部 部長 嘉数 登
	14:30 ～15:00	事業成果発表 「島しょ型スマートコミュニティ実証事業」 ～宮古島におけるEMSの活用～	株式会社ネクステムズ 代表取締役社長 比嘉 直人
	15:00 ～15:15	事業成果発表 「小規模離島における再生可能エネルギー最大導入事業」 ～波照間島におけるMG-Setの活用～	沖縄電力(株) 離島事業部次長兼離島技術グループ長 山城 知
	15:15 ～15:25	事業成果発表 「沖縄・ハワイクリーンエネルギー協力推進事業」	沖縄ハワイクリーンエネルギー協力推進事業 受託共同企業体（NIAC）研究員 西野 通憲
15:25～15:35	休憩（10分）		
第二部	15:35 ～16:30	パネルディスカッション 沖縄独自の島しょ型エネルギー社会の実現を目指して 「沖縄県エネルギービジョン2020(仮称)」 ～質疑応答～	<ファシリテーター> ・琉球大学名誉教授 堤 純一郎 <パネリスト> ・(国研)産業技術総合研究所 再生可能エネルギー研究センター エネルギーネットワークチーム長 大谷 謙仁 ・(一財)電力中央研究所 主任研究員 大嶺 英太郎 ・沖縄電力(株) 取締役企画部長 上間 淳 ・沖縄ガス(株) 取締役電力事業部長 大城 邦夫 ・内閣府沖縄総合事務局 エネルギー対策課長 石油・ガス課長 濱川 均
	16:30	閉会	

■事業概要

「島しょ型スマートコミュニティ実証事業」 ～宮古島におけるEMS（エネルギーマネジメントシステム）の活用～

IT技術（EMS=エネルギーマネジメントシステム）を活用して、太陽光発電設備、給湯器、蓄電池等を最適制御することで、再エネ優先の電気利用の実現を目指しています。

また、本事業の成果を島外にも展開し、来間島や国内各地域で既存電力設備と協調しながら、再エネ最大化を推進しています。

「小規模離島における再生可能エネルギー最大導入事業」 ～波照間島におけるMGセットの活用～

再エネ導入拡大を進めるうえで課題となる、主力電源（ディーゼル発電機）の運用制約を解決する為に、波照間島においてモーター発電機（MGセット）を活用した実証を行っています。当該技術を用いての100%再生可能エネルギーによる電力供給は世界的に類のないものであり、今年11月には約4日間（100時間16分）連続の電力供給を達成しています。

「沖縄ハワイクリーンエネルギー協力推進事業」

同じ島しょ地域であるハワイの再生可能エネルギーに関する先進的取組を取り入れることにより、本県の再生可能エネルギーの普及を図ります。

■沖縄県エネルギービジョン2020(仮称)

沖縄県では、今年度内にエネルギービジョンの改定作業を行っているところです。

次期ビジョンは、SDGsの理念を踏まえながら、2050年度の脱炭素社会の実現に向け、2030年度時点で達成すべき沖縄独自の島しょ型エネルギー社会の将来像を描くとともに、その実現に向けて再生可能エネルギーの導入拡大などのアクションプランを示すこととしています。

■参加費 無料（事前申込が必要です） ■会場定員：100名 ■Web定員：100名
（どちらも定員に達し次第、締切らせて頂きます）

■事務局 沖縄ハワイクリーンエネルギー協力推進事業受託共同企業体
〔代表企業：一般財団法人南西地域産業活性化センター（NIAC）〕

■参加留意事項

新型コロナウイルス感染防止の為、**ご来場の際はマスクの着用**をお願いします。マスク着用の無い場合は入場できません。また、会場にて検温や連絡先の確認等をいたしますので、御協力下さい。